

町田市文化財年報

2023 年度

町田市教育委員会

例 言

- 1.本書は 2023 年度、町田市内で行われた文化財事業の概要を記したものである。
- 2.本書の作成は町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課が編集・執筆を担当した。

I.文化財保護審議会 5

- 1.文化財保護審議会委員名簿
- 2.開催状況
- 3.主な審議内容

II.文化財保護普及事業 6

- 1.新指定文化財
- 2.資料の貸出
- 3.写真の掲載等
- 4.資料調査対応
- 5.出張歴史事業
- 6.講師等の派遣
- 7.出版物の刊行
- 8.町田市立自由民権資料館
- 9.三輪の森ビジターセンター内郷土資料室
- 10.町田市考古資料室
- 11.文化財の展覧会等
- 12.町田デジタルミュージアム

III.史跡保存事業 17

- 1.国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡
- 2.東京都指定史跡 本町田遺跡
- 3.東京都指定史跡 小山田 1 号遺跡

IV.埋蔵文化財保存事業 19

- 1.本調査
宮之前 A 遺跡 第 3 地点
- 2.試掘調査
 - (1) 町田市№550 遺跡
 - (2) 町田市№492 遺跡
 - (3) 町田市№971 遺跡
 - (4) 町田市№978 遺跡
 - (5) 町田市№632 遺跡
 - (6) 町田市№769 遺跡
 - (7) 町田市№105 遺跡
 - (8) 町田市№968 遺跡
 - (9) 町田市№958 遺跡

I .文化財保護審議会

文化財保護審議会は町田市文化財保護条例第 48 条により設置され、教育委員会の諮問に応じて文化財保存及び活用などについて調査、審議し、教育委員会に建議するものとされている。委員は 10 名以内で構成され、教育委員会が委嘱する。

2023 年度は 8 名の委員が委嘱され、文化財に関する審議を行なった。

1.文化財保護審議会委員名簿

氏 名	現 職 等	担 当 分 野
◎浜田弘明	桜美林大学教授	博物館学・人文地理学
○八木橋伸浩	玉川大学教授	民俗学・文化史
阿諏訪青美	横浜市歴史博物館学芸員	日本中世史
内野秀重	八王子市長池公園自然館園長	自然誌
大野敏	横浜国立大学教授	建築史
須田英一	法政大学講師	考古学
鶴巻孝雄	元東京成徳大学教授	日本近代史

※◎は会長、○は副会長（2024 年 3 月 31 日現在）

2.開催状況

2023 年 5 月 16 日

2023 年 8 月 7 日

2023 年 10 月 10 日

2024 年 2 月 14 日

3.主な審議内容

- ・文化財の新規指定・登録（旧跡）について

Ⅱ.文化財保護普及事業

1.新指定文化財

町田市指定旧跡

2023 年 6 月 27 日

凌霜館跡

凌霜館は、野津田村出身の自由民権家で自由党に参加した村野常右衛門が、精神と身体の鍛錬を通して若手運動家の育成を目的に設立した文武館である。自由党系の文武館としては全国においても先駆的で、集った若者は時事の談論、文武の研鑽をしていた。その後、明治末まで野津田村の青年会「凌霜会」の活動拠点として使われたと考えられる。凌霜館跡地は、村野常右衛門の子孫に伝えられ、1984 年に市へ寄贈後、現在は自由民権資料館が建てられている。



2.資料の貸出

貸出先	展示会名	貸出資料	展示期間
山梨県立考古博物館	第40回特別展 「星降る中部高地の縄文世界」	金森遺跡・深鉢形土器 御嶽堂遺跡・浅鉢形土器 木曾中学校遺跡・クルミ形土器 忠生遺跡・深鉢形土器 など 25 点	2023.7.8～9.3
府中市郷土の森博物館	「どんなもんだい？縄文時代」	木曾団地遺跡群・土偶(足) なすな原遺跡・石剣など 18 点	2023.7.15～8.27
町田市立小川小学校	1 年生国語の授業	糸車	2023.11.22～12.1

3.写真の掲載等

提供先	出版物等	提供資料	発行
特定非営利活動法人著作権利用等に係る教育 NPO	2023 年度須磨学園中学校入学試験	演説会の中止を求める警察官	2023.2
秋田県立近代美術館	「縄文 小川忠博写真展」	御嶽堂遺跡・浅鉢形土器 深鉢形土器 忠生遺跡・石棒 土器等	2023.4.22 ～ 6.30
NHK	「歴史探偵」（「情報戦・日本海海戦」）	明治三十八年文書録（高梨家） 天野家文書数点	2023.06.21
東京都埋蔵文化財センター	広報誌「多摩のよこやま」	西谷戸横穴墓群・圭頭大刀	2023.6.23～
合同会社ケプラー	「ケプラー通信」第 8 号	木曽中学校遺跡・クルミ形土器	2023.9.7
株式会社テレビバイダー・エンタテインメント	TOKYO MX1 「ぐるり東京江戸散歩」	原町田地形図 蚕影神社（常盤不動尊内） 蚕蛹供養碑（三輪熊野神社内）	2023.9.16
公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社	「ひたちなか埋文だより」第 59 号	木曽遺跡群・竪穴住居跡	2023.10.31
テレコムスタッフ株式会社	NHK「100 分 de 名著」12 月期「三酔人経綸問答」	錦絵「国会議事堂会儀之図」	2023.12.4
公益財団法人東京市町村自治調査会	「多摩東京移管 130 周年記念 多摩市町村のあゆみ」	石阪昌孝肖像写真	2023.12.25
読売新聞社	「読売新聞」都民版（多摩版含む）「TOKYO たてもの探訪」	細野家銅版画 細野家ガラス乾板 3 点	2024.3.16
株式会社悠工房	「社会科資料集 6 年」 「デジタル版社会科資料集「しゃか WEB」6 年」	向遺跡・注口土器	2024.4.1
株式会社ミューール	自然と科学の情報誌「milsil」（ミルシル）98 号	なすな原遺跡・隆起線文土器	2024.3.1
町田地方史研究会	「町田の地名 忠生地区」	木曽中学校遺跡・クルミ形土器など 3 点 「小山田邑絵図」「下小山田耕作匱絵図面」「図師村絵図」	2024.3.15
山と溪谷社	「多摩ハイク 多摩丘陵・町田・高尾・青梅の山と街歩き」	町田市考古資料室など 6 点	2024.3 中旬
株式会社帝国書院	「社会科 中学生の歴史」	「自由」の文字の付いた芝居用の人形 中島信行書「自由所棲是吾郷」	2025.4.1

4.資料調査対応

機関等	目的	資料名	調査日
個人	研究	異聞録 5 点（薄井家）	2023.4.16
個人	調査	なすな原遺跡・土偶など 6 点	2023.5.12
個人	調査	河井家文書・野津田村絵図ほか 2 点 神蔵家文書・能ヶ谷村絵図 2 点	2023.6.27・8.16・2024.3.16
個人	研究	忠生村役場文書 5 点	2023.8.8・8.17・12.17・12.24
個人	研究	河井家文書 59 点	2023.11.23
個人	研究	石阪家文書・御布達綴 1 点	2023.11.23
個人	研究	村野家文書 1 点	2023.12.17
個人	研究	守屋家文書 209 点	2024.1.24・2.9・2.20
個人	調査	南村全図	2024.1.26
道路管理課	調査	旧公図・真光寺字 4 号	2024.1.31
個人	研究	木曾森野遺跡・動物形土製品、縄文土器 忠生遺跡 A 地区・焼成粘土塊、縄文土器	2024.2.2
個人	研究	河井家文書 2 点	2024.2.14
個人	研究	忠生遺跡・彫刻付大形石棒	2024.2.16
個人	研究	村野家文書・村野常右衛門宛書簡 10 点	2024.2.17
個人	研究	神蔵家文書・能ヶ谷村絵図など 3 点	2024.2.22
個人	研究	河井家文書 3 点、佐藤家文書 1 点 若林家文書 1 点	2024.2.24・3.10
個人	研究	森家文書・忠生村全図 石阪家文書・木曾根岸村絵図	2024.3.16
個人	研究	村野家文書・村野日誌 26 点	2024.3.17

5.出張歴史事業

小・中学校名	実施日	コース	学年	人数
農村伝道神学校	2023.6.10	自由民権資料館見学		学生 1 人 教員 1 名
本町田東小学校	2023.6.20	考古 45 分	6 年生	児童 30 人 教員 1 人
町田第四小学校	2023.6.22	考古 45 分	6 年生	児童 96 人 教員 3 人
町田総合高等学校	2023.6.27	自由民権運動を知る 50 分	2・3 年生	生徒 18 人 教員 1 人
金井中学校	2023.6.30	町田の歴史の概要、民権の愛称募集	1 年生	生徒 163 人 教員 9 人
南第一小学校	2023.7.5	薬師池等の歴史	3 年生	115 人
正和幼稚園	2023.8.2	自由民権資料館見学		園児 20 人 教員 1 人
日本女子大学	2023.8.12	自由民権資料館見学		学生 6 人 教員 1 人

町田総合高等学校	2023.7.7	忠生遺跡について	2年生	生徒 11 人 教員 1 人
町田第四小学校	2023.9.19	町田と養蚕	3年生	児童 89 人 教員 4 人
大戸小学校	2023.9.26	町田と養蚕	3年生	児童 28 人 教員 1 人
和光高校	2023.10.20	自由民権資料館見学		生徒 6 人 教員 1 人
南成瀬小学校	2023.10.24	昔の地図	3年生	児童 53 人 教員 2 人
大戸小学校	2023.10.26	脱穀	5年生	児童 19 人 教員 2 人
本町田東小学校	2023.12.13	昔の地図	4年生	児童 31 人 教員 1 人
本町田東小学校	2023.12.14	町田と養蚕	3年生	児童 37 人 教員 2 人
小川小学校	2023.12.19	町田と養蚕	3年生	児童 72 人 教員 3 人
鶴川第三小学校	2023.12.19	自由民権運動を知る	6年生	児童 61 人 教員 2 人
本町田東小学校	2023.12.20	昔の町田（どんど焼き）	4年生	児童 31 人 教員 1 人
小山小学校	2023.12.21	田端遺跡	6年生	児童 32 人 教員 4 人
鶴川第一小学校	2023.12.21	自由民権資料館見学	6年生	児童 123 人 教員 4 人
真光寺中学校	2024.1.19	自由民権運動を知る 町田と養蚕	1年生	生徒 81 人 教員 7 人
相原小学校	2024.2.5	昔の道具	3年生	児童 64 人 教員 1 人
真光寺中学校	2024.2.8	自由民権資料館見学	1年生	生徒 11 人 教員 1 人
小川小学校	2024.2.20	昔の道具	3年生	児童 72 人 教員 3 人
和光大学	2024.2.27	自由民権資料館見学		学生 2 名 教員 1 人
藤の台小学校	2024.2.29	昔の道具	3年生	児童 63 人 教員 1 人 VC4 人

6.講師等の派遣

派遣日	依頼・主催者	内容	参加人員	実施場所
2023.5.12	生涯学習センター	市民大学 HATS「町田の歴史（前期第 2 回）町田の自由民権運動」	27 人	生涯学習センター
2023.6.23	生涯学習センター	市民大学 HATS「町田の歴史（前期第 8 回）本格的な対外戦争と地域社会」	28 人	生涯学習センター
2023.11.10	生涯学習センター	市民大学 HATS「町田の歴史（後期第 8 回）過去が歴史になったとき」	30 人	生涯学習センター

7.出版物の刊行

書名	発行機関	発行年月日	発行部数
町田のおカイコさんガイドブック	町田市教育委員会	2023.7.22	3000
宮之前 A 遺跡―第 3 地点―	株式会社ラクロ	2024.1.31	300
町田市文化財年報 2022 年度	町田市教育委員会	2024.3.21	250
町田市立自由民権資料館 紀要「自由民権」37	町田市教育委員会	2024.3.31	900
町田市史料集 2-2 武蔵国 多摩郡下図師村佐藤甚右衛門「晴雨日記」二	町田市教育委員会	2024.3.31	250

8.町田市立自由民権資料館

月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始以外は開館している。

2023 年度、自由民権資料館の愛称を公募し、「まちれき」に決定、11 月 1 日より使用を始めた。

「自由民権運動と町田」、「町田の歴史一時代でたどる人びとのくらしー」の 2 種類の常設展示を行っている。企画展は、横浜開港後の地域の特徴でもある近代の養蚕と製糸を紹介する「町田のおカイコさん」を夏休み期間中に、主催講座「町田自由民権カレッジ」の 4 期生各自の卒業論文テーマに即した展示「市民の歴史探求事始め～町田自由民権カレッジ 4 期生の成果～」を冬季に開催した。企画展に合わせて講演会・ギャラリートークなどを開催した。

また、講座事業の見直しをはかり、町田自由民権カレッジ・特別講座に代わり、町田歴史講座（通称「まち歴」）を開催することとした。

年間開館日数は 307 日、年間利用者数は 7,932 人だった。

企画展

展示名	開催期間	日数	来館者数
企画展「町田のおカイコさん」	2023.7.22～9.3	44 日	1,189 人
企画展（市民協働展） 「市民の歴史探求事始め～町田自由民権カレッジ 4 期生の成果～」	2024.2.3～3.3	26 日	448 人



企画展「町田のおカイコさん」



企画展「市民の歴史探求事始め」の
ギャラリートーク

講座事業

種類	講師	タイトル	開催日	会場	受講者数
まち 歴 座学	資料館職員	「町田の歴史」展 深掘り解説「江戸時代の市域の生業」	2023.5.14	自由民権資料館閲覧室	19 人
座学	牛米努(明治大学非常勤講師)	古文書講座(前期 5 回)	2023.5.18~7.6	国際版画美術館講堂	40 人
まち 歴 FW	資料館職員	「絵図を見てまちへ出よう～野津田村絵図編～」	2023.5.21	自由民権資料館閲覧室・野津田町内	16 人
まち 歴 ゼミ	資料館職員	「語り合おう！町田の文明開化～南多摩郡最初の結社・責善会～」	2023.6.4	自由民権資料館閲覧室	13 人
まち 歴 座学	西澤美穂子氏(鶴見大学文学部准教授)	「知らされていた黒船来航情報―幕府外交とオランダの思惑―」	2023.6.10	中央図書館ホール	41 人
まち 歴 座学	依田亮一氏(国分寺市教育委員会ふるさと文化財課市史編さん担当係長)	「古代の町田は武蔵国？それとも相模国？―考古学からみた国 ^{くに} 堺―」	2023.7.2	町田市民文学館ことばらんど大会議室	64 人
WS	小泉勝夫氏(蚕糸絹業史研究家)	「おカイコ博士の小泉先生に聞いてみようカイコの仲間と、カイコの飼ひ方、観察のしかた」	2023.8.5	自由民権資料館閲覧室	32 人
まち 歴 座学	戸森麻衣子氏(東京農業大学非常勤講師・早稲田大学エクステンションセンター講師)	「『町田市史史料集』を読む―江戸時代編③―武家奉公人関係史料を読む」	2023.8.6	中央図書館ホール	45 人
記念 講演 会 座学	丸谷博男氏(一般社団法人エコハウス研究会代表理事)	「養蚕が民家をエコハウスにした」	2023.8.20	文学館ことばらんど	29 人
WS	歴史資源担当職員	昔の夏のくらし体験	2023.8.23	村野常右衛門生家	24 人
座学	黒滝香奈(東京大学史料編纂所学術専門職員)	古文書講座(後期 5 回)	2023.10.26~12.21	国際版画美術館講堂	39 人
まち 歴 座学	資料館職員	出張ギャラリートーク「知るともっと展示が楽しくなる！自由民権資料館と常設展「町田の歴史」案内」	2023.11.3	国際版画美術館講堂	25 人

WS	歴史資源担当職員	体験講座「篠竹を編むー小野路のめかい製作技術せコースターを作ろうー」	2023.11.19	町田薬師池公園四季彩の杜西園ラボ・体験工房	10 人
まち歴座学	大門正克氏 (早稲田大学特任教授)	ミュージアムトーク「本の著者に会ってみよう！“町田”の片隅で選挙と日本国憲法をたぐりよせる」	2024.2.18	町田市民フォーラムホール	108 人
まち歴WS	資料館職員	ワークショップ「石に刻まれた薬師池の歴史」	2024.3.10	薬師池公園	14 人
まち歴座学・FW	歴史資源担当職員	講演会・遺跡見学会「高ヶ坂石器時代遺跡～山本亀三が見た町田の遺跡～」	2024.3.16	国際版画美術館講堂・高ヶ坂石器時代遺跡(牢場遺跡・稻荷山遺跡)	20 人
まち歴WS	貝塚 建 氏 (元川崎市市民ミュージアム学芸員)	ワークショップ「被災した紙資料を救う！文化財レスキュー体験ワークショップ」	2024.3.24	町田第一中学校調理室	9 人



まち歴講座「絵図を見てまちへ出よう」



まち歴講座「出張ギャラリートーク」

9.三輪の森ビジターセンター内郷土資料室

月曜日（（祝日の場合は開室、翌日休室）、年末年始以外は開室している。
年間開室日数は 309 日、年間利用者数は 5,605 人だった。



企画展

展示名	開催期間	日数	来館者数
企画展「町田のおカイコさん」※自由民権資料館と同時開催	2023.7.22～9.3	44 日	441 人

10.町田市考古資料室

展示コーナーのみを年末年始を除く、毎月第2、第4土曜、日曜、祝祭日（7、8月は毎週土日、祝日）に開室している。

2022年度に「縄文のまちだ」をテーマに展示のリニューアルを行い、縄文時代を中心に町田の代表的な考古資料を展示している。

年間開室日数は 76 日、年間利用者数は 686 人だった。



11. 文化財の展覧会等

(1)町田ツーリストギャラリーでの展示

町田市観光コンベンション協会の協力を得て「ぼっぼ町田」1階、「まちの案内所 町田ツーリストギャラリー」で考古資料の展示を行った。観覧者数は6,691人であった。

2023年4月1日～7月30日

野津田上の原遺跡出土・鉢形土器
縄文時代後期

2023年7月31日～8月14日

なすな原遺跡出土・深鉢形土器
縄文時代晩期



2023年4月1日～7月30日



2023年7月31日～8月14日

(2)ふれあい桜館での展示

2023年3月23日～4月14日、桜の季節に合わせ高齢者福祉施設ふれあい桜館で忠生遺跡の資料の展示を行った。観覧者数は740人であった。

(3)子どもセンターまあちでの展示

2023年10月2日～11月13日、子どもセンターまあちで高ヶ坂南遺跡の縄文土器・石器等の展示を行った。観覧者数は13,333人であった。



まあちの展示

(4)子どもセンターつるっこでの展示

2023年12月17日～2024年1月22日、子どもセンターつるっこで鶴川遺跡J地点の縄文土器・石器・土偶の展示を行った。

また、つるっこ子ども委員会企画イベント「ホットフェス」(2023年12月17日)にブースを出展し、触れる土器片の設置、まっくうお面の配布、缶バッジ販売などを行った。



つるっこの展示

(5)東京文化財ウィーク

国の「文化財保護強調週間」に合わせて、都内各地にある文化財を一斉に公開する「東京文化財ウィーク 2023」に参加した。

関連イベントとして、東京都指定有形文化財旧荻野家住宅内にて、町田市内に在住し長年にわたって古民家を研究した小林昌人氏（1931-2001）の調査資料を中心に、写真パネルでの展示をおこない、現在の住空間との違いや変遷などを紹介した。2023年11月1日～30日に開催し、観覧者数（薬師池公園来園者数）は72,415人であった。



展示の様子

(6)市庁舎1階イベントスタジオでの展示

町田市が保管する古民家の紹介および小林昌人の調査関係資料と市内古民家写真のパネルを展示した。2024年1月22日～2月2日に開催し、観覧者数は610人であった。



展示の様子

(7)文化財防火デー

町田消防署と町田市教育委員会が主催して消防訓練を次の通り実施した。

日時：2024年1月27日 午前9時30分～10時15分

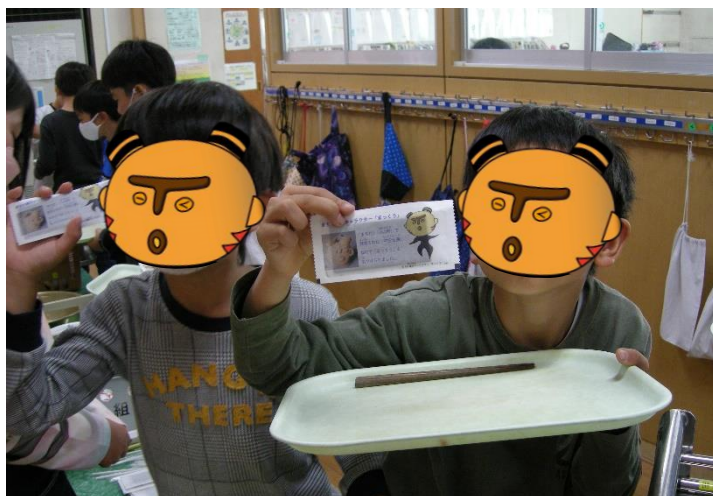
場所：町田市相原町 2109

長福寺本堂 格天井花丸絵画（町田市指定有形文化財）



(8) まっくう給食

町田市から発掘された土偶をモデルとした、まちだ縄文キャラクター「まっくう」を通じて「縄文のまちだ」に親しみと誇りを持ってもらうことを目的とし、東京文化財ウィーク期間中に実施した。「まっくう」をモチーフにしたもの、または土偶や土器など縄文にちなんだメニューを各小学校で提供した。



「まっくう」が描かれたのり

12. 町田デジタルミュージアム

町田デジタルミュージアムの 2022 年 4 月 1 日より全面公開を開始した。

URL : <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/1320905100>

町田デジタルミュージアムは、町田市の持つ優れた考古・歴史・民俗資料をデジタル化、町田の通史を概観できるデジタルアーカイブをインターネット上で公開、町田市の歴史情報を広く分かりやすく発信している。利用者はいつでも、どこでも、無料で資料の閲覧ができる。

「町田デジタルミュージアム」の特長

- ①時代ごとの年表、解説により、旧石器時代から現代までの町田の歴史をわかりやすく紹介している。
- ②2000 点以上の考古・歴史・民俗資料に関する画像が掲載され、そのうち 240 点は 3D を含む高精細画像である。
- ③代表的な近世の古民家、普段は内部を見学できない横穴墓を 3D パノラマビュー画像でその場にいるような感覚でみられる。

Ⅲ.史跡保存事業

1.国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡

高ヶ坂石器時代遺跡は牢場遺跡・稲荷山遺跡・八幡平遺跡の3地点で構成される。高ヶ坂石器時代遺跡は発掘調査によって、縄文時代の敷石住居がはじめて確認された遺跡で、1925年に発見され、翌1926年に国の史跡に指定された。

2023年度は牢場遺跡の公園整備を行った。また、町田市国史跡高ヶ坂石器時代遺跡整備検討委員会（第15回）を11月30日に行った。

町田市国史跡高ヶ坂石器時代遺跡整備検討委員会 委員名簿

(2024年3月時点)

氏 名	所 属 等	担当分野
山本暉久（委員長）	昭和女子大学名誉教授	考古学
谷川章雄	早稲田大学名誉教授	考古学
阿部朝衛	帝京大学教授・元町田市文化財保護審議会委員	考古学
栗野隆	東京農業大学教授	造園学
小島政孝	小島資料館館長・元町田市文化財保護審議会委員	郷土史
井上恭一	元町田市教育委員・元町田市文化財保護審議会委員	
石垣敦男	芝好園自治会	
オブザーバー		
中井将胤	文化庁文化資源活用課 文化財調査官	
野口舞	東京都教育庁地域教育支援部管理課 埋蔵文化財担当	



牢場遺跡の公園整備

2.東京都指定史跡 本町田遺跡

本町田遺跡は藤の台団地造成に伴い調査された遺跡で縄文時代前期と弥生時代中期の集落跡が確認され、縄文時代と弥生時代の住居跡が各一軒復元されている。

弥生住居の竪穴周壁の羽目板が腐朽により破損し、裏の土が流れ出したため修繕を行った（2023年8月7日～2024年1月18日）。羽目板を木材からGRC（繊維強化コンクリート）へ変更し、耐久性の向上を図った。



修繕前

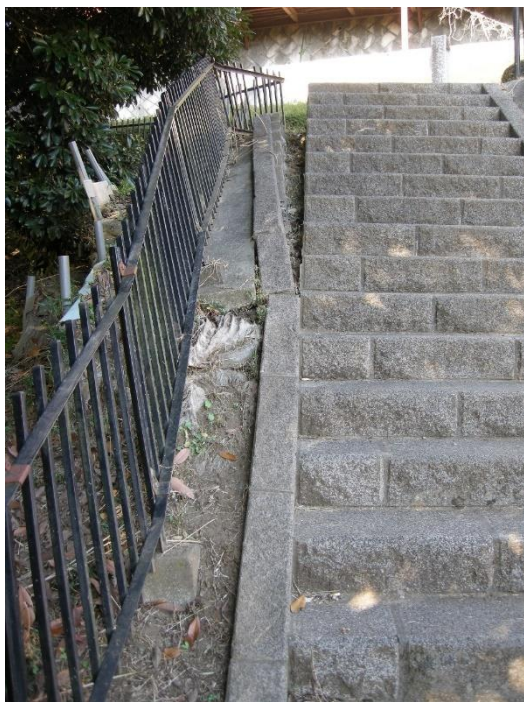


修繕後

3.東京都指定史跡 小山田 1 号遺跡

小山田遺跡群は小山田桜台団地造成に伴い調査が実施された。1 号遺跡は南向き斜面地を造成した平安時代末から室町時代にかけての有力武士の居館跡と考えられている。12 世紀に地下式横穴が構築された後、斜面を垂直に 3m ほど削り、東西約 60m、南北約 15m の平坦面が造られた。そこに 15 世紀中頃に至るまでの掘立柱建物跡、大型竪穴状遺構、柵柱列などが構築され、天目茶碗、銭貨などが出土している。

史跡内園路の階段の一部が崩れたため復旧工事を実施した（2023年9月1日～2024年2月22日）。



工事前



工事後

IV.埋蔵文化財保存事業

1.本調査

宮之前 A 遺跡 第 3 地点

所在地 三輪町字五号 368
調査原因 宅地造成
調査期間 2023 年 5 月 9 日～6 月 6 日
調査面積 104 m²
支援業者 (株)ラクロ
検出遺構 竪穴住居跡 1、竪穴状遺構 1
ピット 2 (古墳時代)
土坑 1、ピット 5、硬化面 1
ピット列 1 (時期不明)
検出遺物 縄文土器、石器、土師器
須恵器、炆器



調査概要

竪穴住居跡・竪穴状遺構は古墳時代後期後半の遺構である。竪穴状遺構としたものは依存状態が悪く、柱穴と考えられるピットも検出されなかったが、カマドの構築材と思われる粘土が出土しているため住居の可能性が高い。単独ピット P1 は掘り方が大きく、一度粘土で埋め戻し、そこに高坏等の土器を一括廃棄している。

5 月 31 日には近隣の三輪小学校 6 年生の見学があった。



竪穴住居跡



単独ピット P1

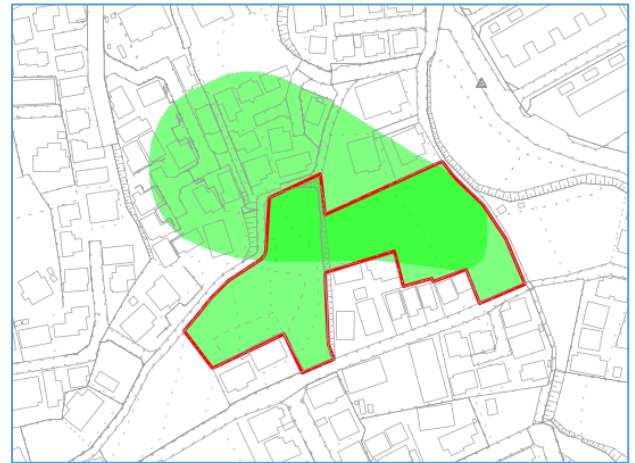


調査区全体図

2.試掘調査

(1)町田市№550 遺跡

所在地	本町田字一号 194 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2023 年 5 月 15～18 日
調査面積	2×4m×5ヶ所=40㎡
支援業者	(株)四門
検出遺構	なし
検出遺物	なし

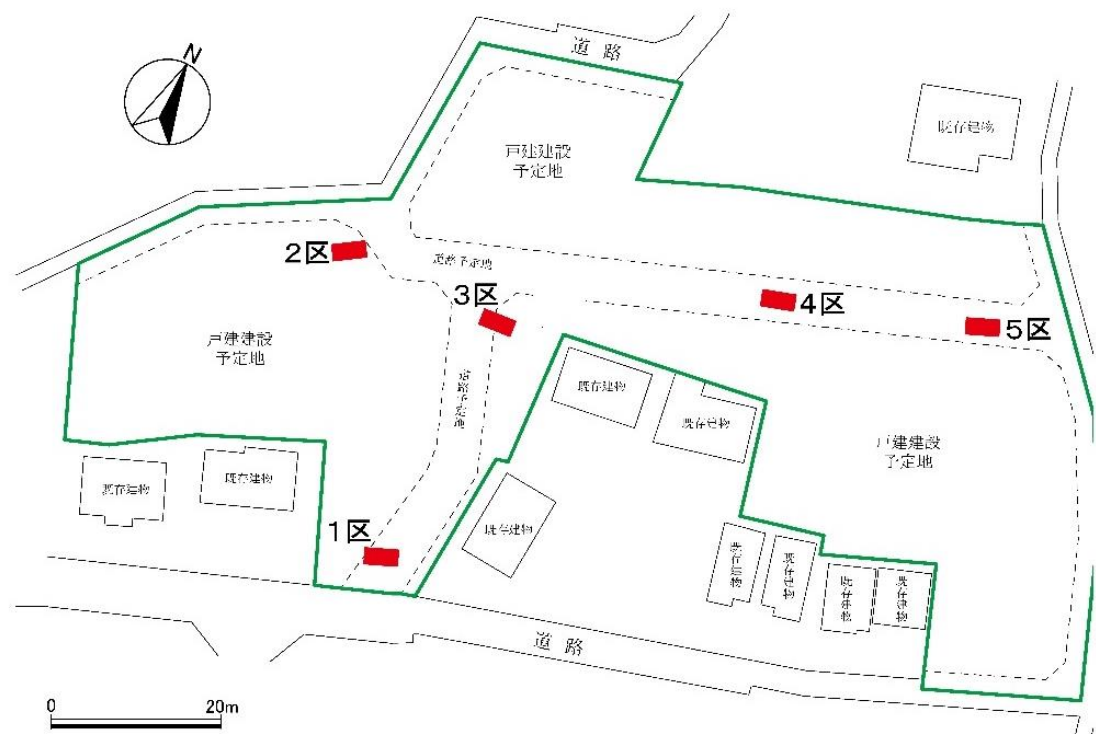


調査概要

恩田川右岸の丘陵上に立地し、標高は約 75m である。50 cm 前後の表土層の下に暗褐色土主体の堆積土が認められる。遺構・遺物は確認されなかった。



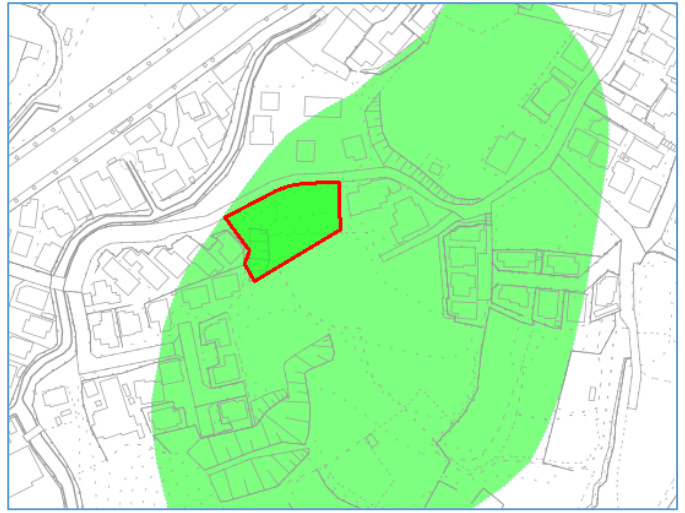
2 区



調査区配置図

(2)町田市№492 遺跡

所在地 山崎町字十号 1517-3
調査原因 宅地造成
調査期間 2023 年 5 月 29～6 月 5 日
調査面積 1×4m×3 ヶ所=12 m²
支援業者 (株)四門
検出遺構 なし
検出遺物 磁器、陶器、石器、土器、
土製品



調査概要

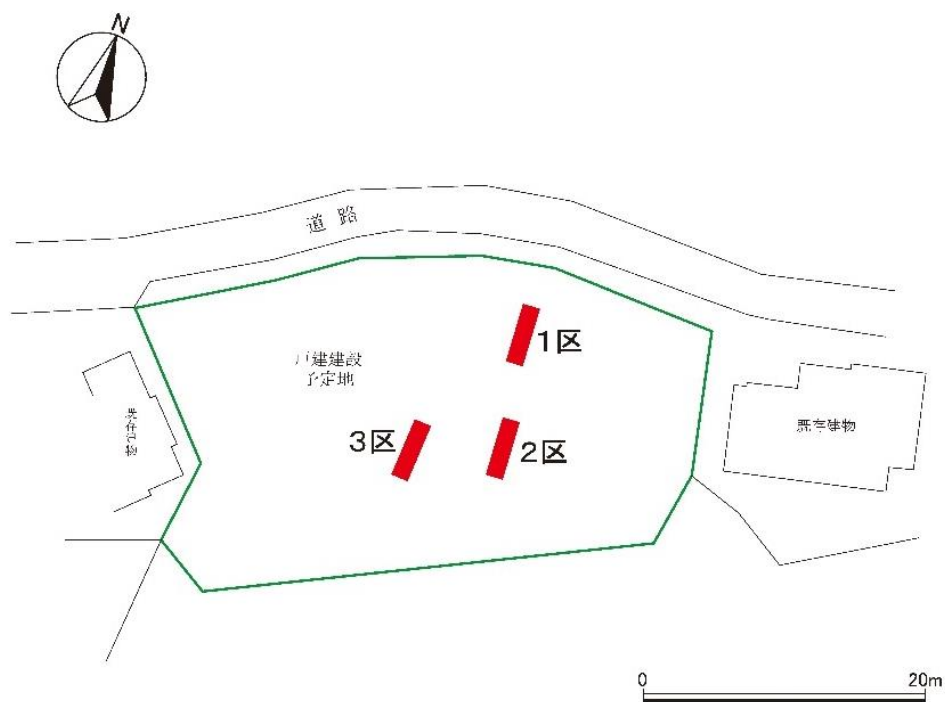
鶴見川の支流、山崎川の右岸の丘陵中腹に位置し、標高は約 80m である。盛土が地表から 1.5m 以上、厚く堆積している。遺物はすべて近世のもので、土製品（土人形）が含まれる。遺構は確認できなかった。



1 区



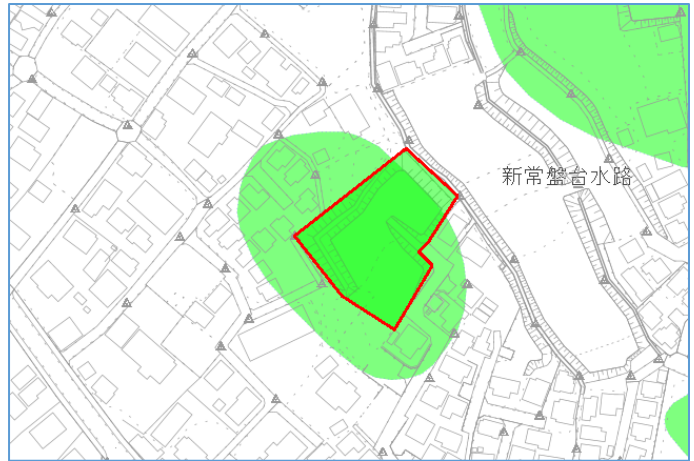
出土遺物



調査区配置図

(3)町田市№971 遺跡

所在地 小山町字一号 95-2 の一部
調査原因 宅地造成
調査期間 2023 年 7 月 5～6 日
調査面積 2×4m×2 ヶ所、
2×8m×1 ヶ所=32 m²
支援業者 (株)四門
検出遺構 土坑 3 基、ピット 1 基
検出遺物 なし



調査概要

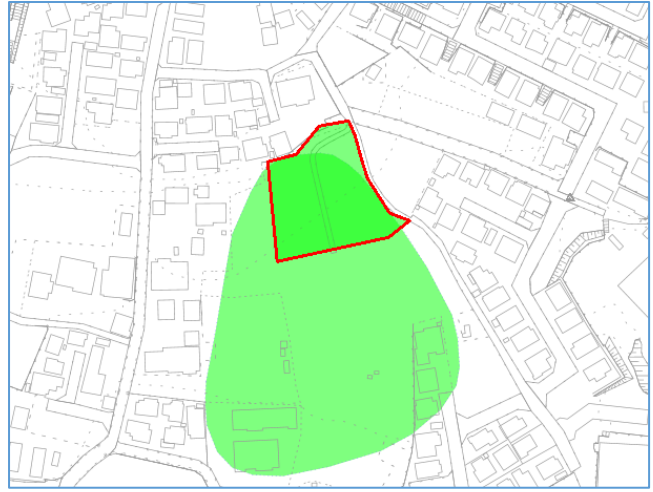
境川左岸の丘陵上に立地し、標高は約 115m である。1m ほどの盛土層の下に自然堆積層が認められる。ローム漸移層・ソフトローム層で土坑 3 基、ピット 1 基が確認された。遺物は確認されなかった。



調査区配置図

(4)町田市№978 遺跡

所在地	山崎町字十四号 2036 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2023 年 8 月 28～30 日
調査面積	2×2m×4 ヶ所=16 m ²
支援業者	(株)四門
検出遺構	なし
検出遺物	なし

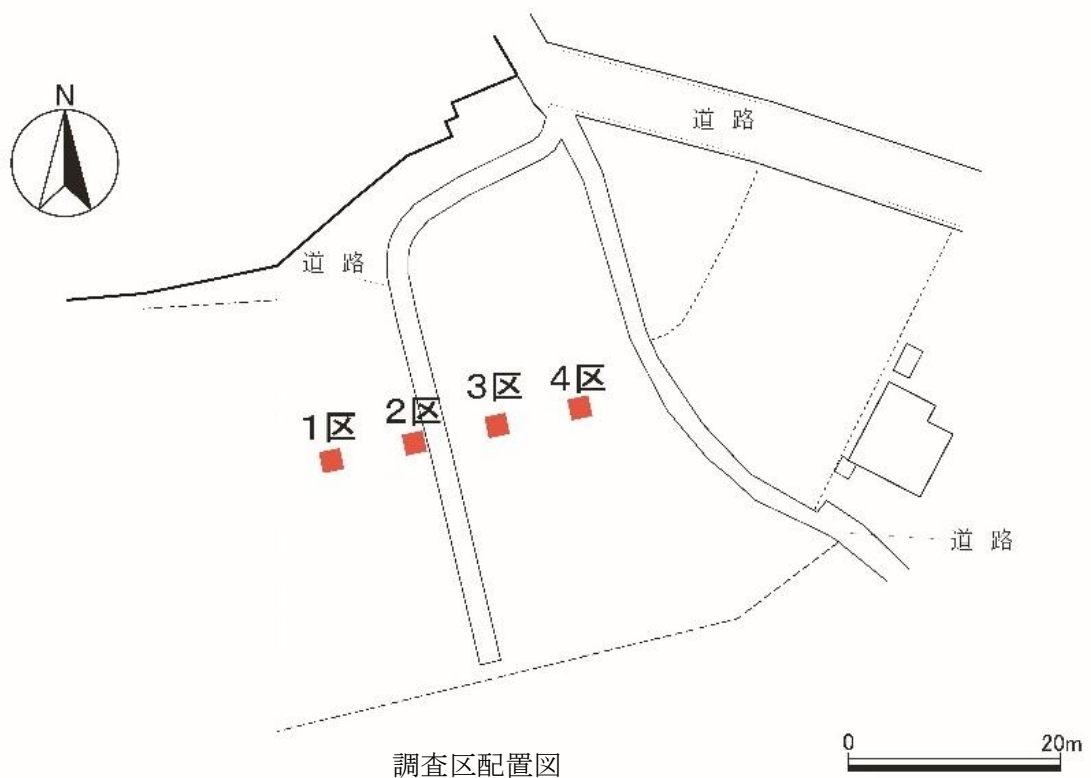


調査概要

鶴見川右岸の丘陵上に位置し、標高は約 95m である。表土、黒褐色土、ローム漸移層、ソフトローム層の堆積が認められる。現代の耕作痕が表土から掘り込まれているが、それ以外、遺構・遺物は確認されなかった。



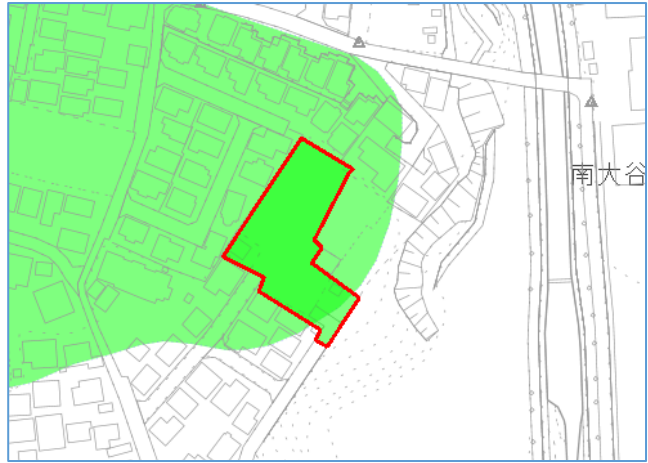
2 区



調査区配置図

(5)町田市№632 遺跡

所在地 南大谷字十三号 1241 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2023 年 11 月 9 日
調査面積 $2 \times 4 \text{m} \times 2 \text{ヶ所} = 16 \text{m}^2$
支援業者 (株)四門
検出遺構 なし
検出遺物 なし

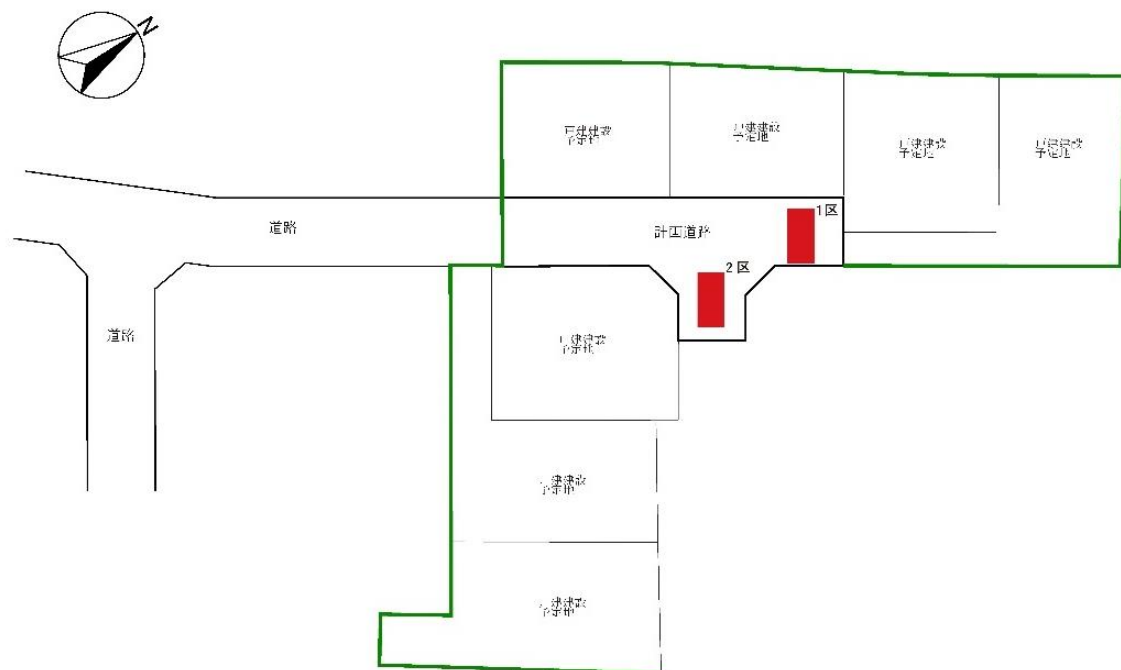


調査概要

恩田川右岸の丘陵上に立地し、標高は約 68m である。1m ほどの表土下にローム漸移層、ソフトローム層が認められる。遺構・遺物は確認されなかった。



1 区

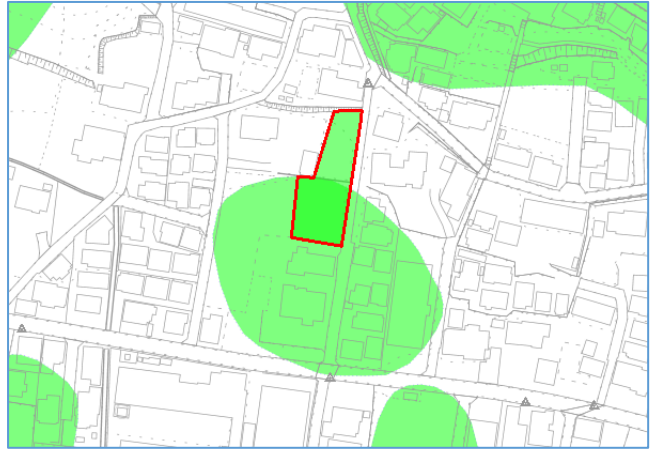


0 10m

調査区配置図

(6)町田市№769 遺跡

所在地 相原町字丸山 1821-2 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 1 月 18～19 日
調査面積 2×4m×3 ヶ所=24 m²
支援業者 (株)四門
検出遺構 竪穴状遺構 3 基
検出遺物 土師器、須恵器、瓦、磁器、
陶器



調査概要

境川左岸の丘陵斜面地に立地し、標高は約 147～150m である。1 トレンチで竪穴状遺構 2 基、2 トレンチで竪穴状遺構 1 基が確認された。これらに伴い平安時代の土師器、須恵器、瓦、支脚などが出土した。



1 トレンチ



1 トレンチ出土遺物



調査区配置図

(7)町田市№105 遺跡

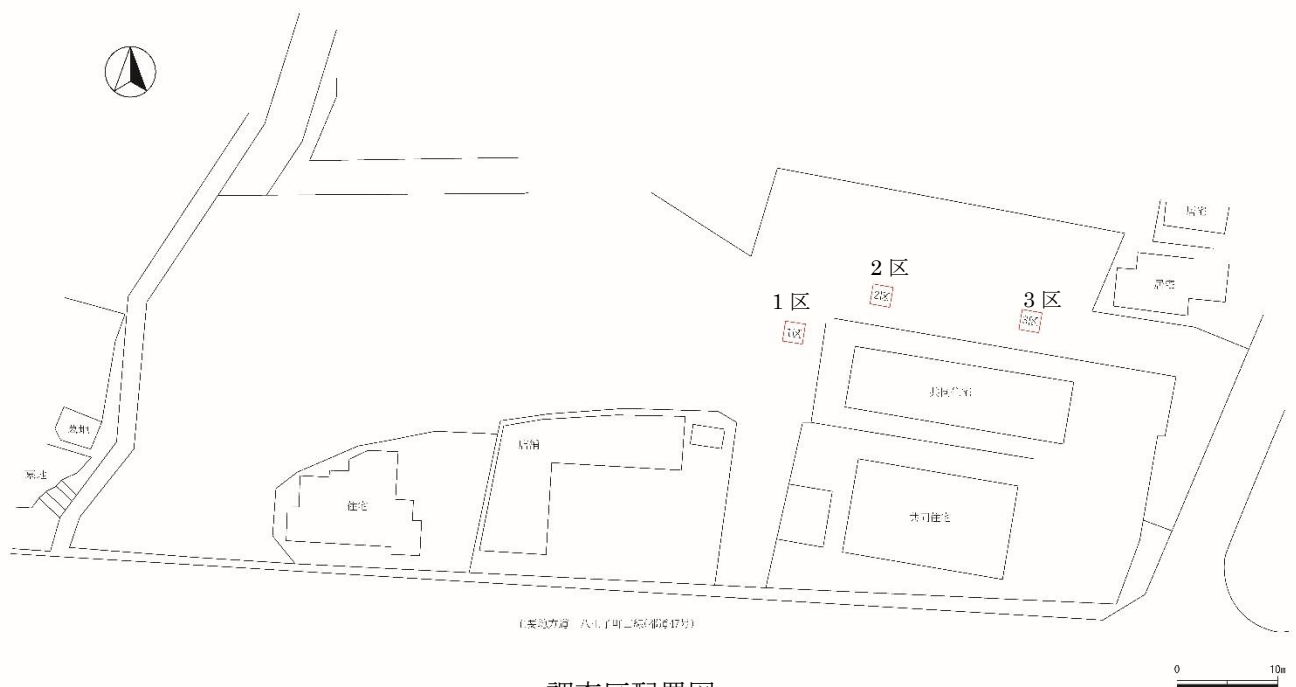
所在地 小山町字三十三号 3453-49 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 2 月 5～7 日
調査面積 $2 \times 2 \text{m} \times 3 \text{ヶ所} = 12 \text{m}^2$
検出遺構 溝状遺構 1 条
検出遺物 なし

調査概要

境川左岸の丘陵斜面に立地し、標高は約 131m である。いずれの調査区も切土されており、依存状態は悪い。1 区で溝状遺構が 1 条確認されたが、遺物は無く、時期は不明である。



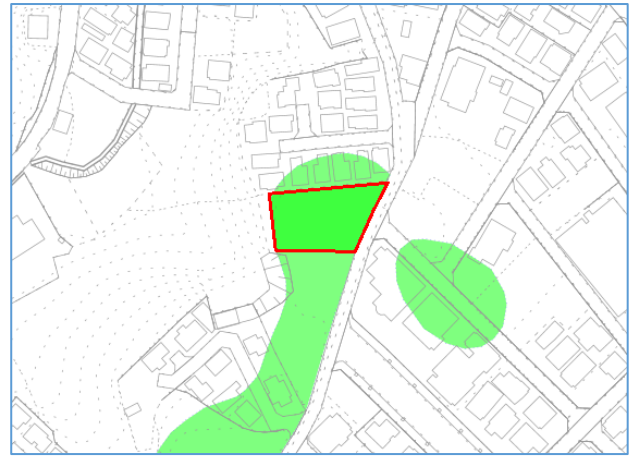
1 区



調査区配置図

(8)町田市№968 遺跡

所在地 上小山田町字二号 171-3 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 2 月 20 日
調査面積 $2 \times 4 \text{m} \times 2 \text{ヶ所} = 16 \text{m}^2$
検出遺構 なし
検出遺物 縄文土器、陶器



調査概要

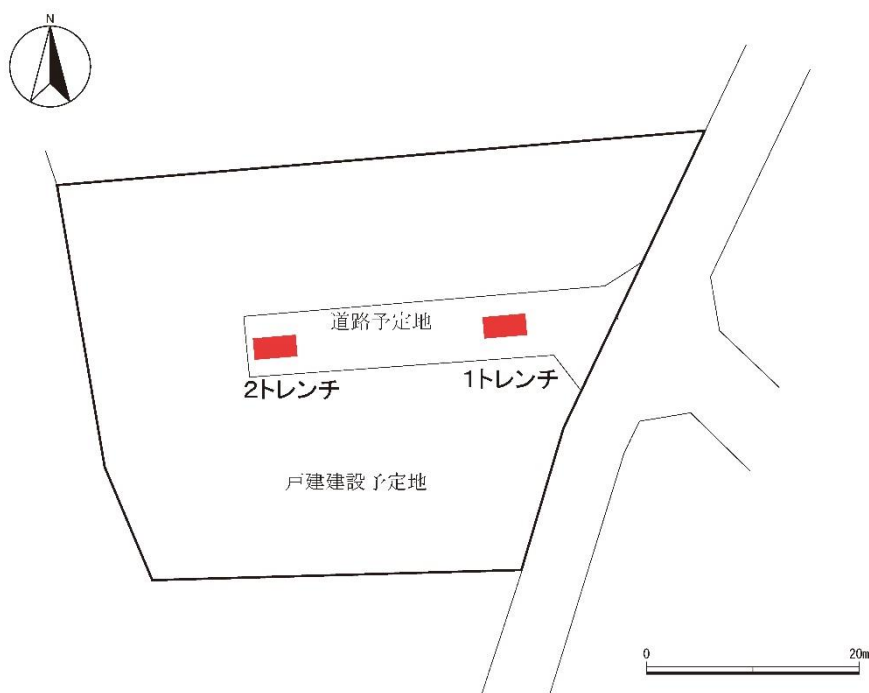
鶴見川右岸の丘陵上に立地し、標高は約 108m である。30 cm ほどの表土下にローム漸移層が確認された。1 トレンチからは縄文時代前期条痕文系の土器片 6 点がまとまって確認された。遺構は確認されなかった。



1 トレンチ



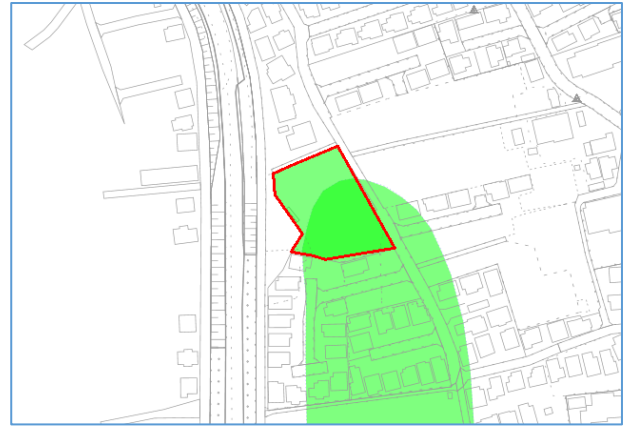
出土遺物



調査区配置図

(9)町田市№985 遺跡

所在地	矢部町字二十五号 2637-3 外
調査原因	宅地造成
調査期間	2024 年 3 月 11～12 日
調査面積	2×4m×3 ヶ所=24 m ²
検出遺構	なし
検出遺物	なし

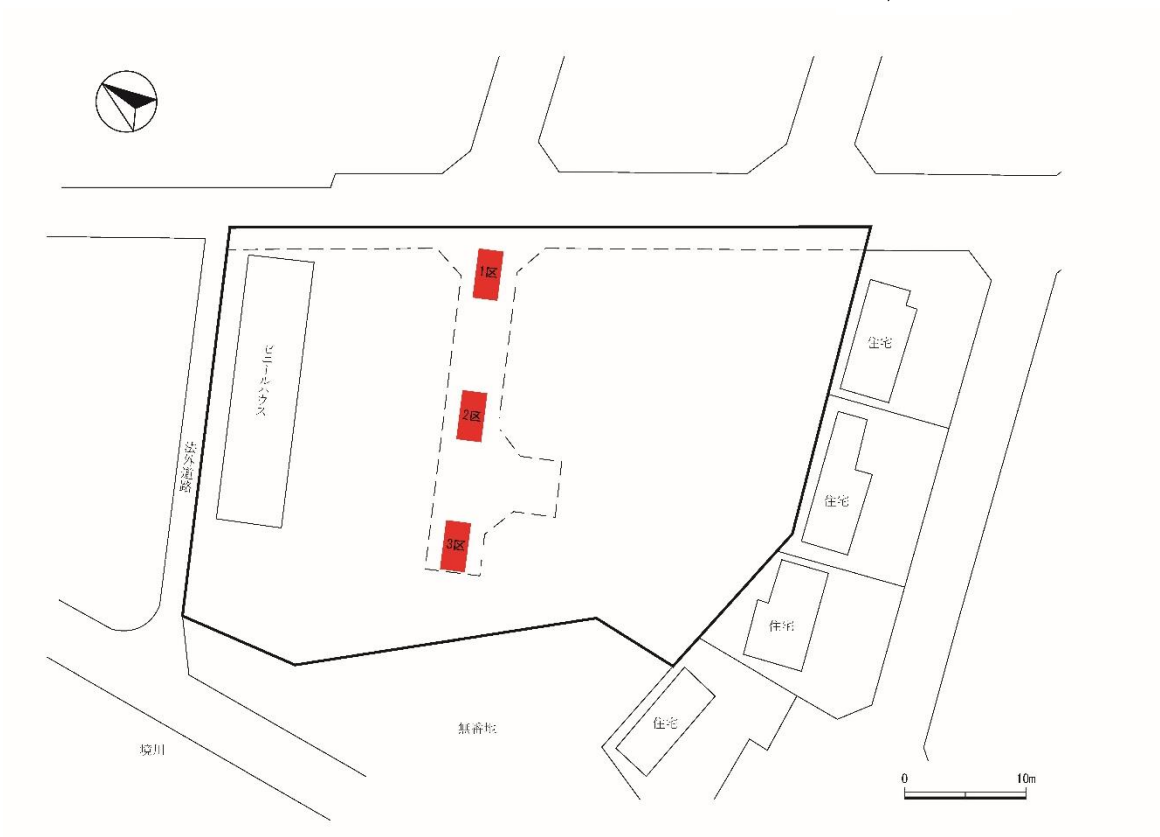


調査概要

境川左岸の沖積低地に立地し、標高は約 102mである。この周辺は境川の氾濫原にあたり、水田として利用された時期もあり、水の影響を受けた堆積の様相が見受けられた。遺構・遺物は確認されなかった。



1 区



調査区配置図

町田市文化財年報 2023 年度

発行日	2025 年（令和 7 年） 3 月 31 日
編集	町田市教育委員会生涯学習総務課 〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22 電話 042-724-2554
発行	町田市教育委員会
刊行物番号	24-78
印刷	庁内

この冊子は 210 部作成し、1 部あたりの単価は 466 円です（職員人件費を含みます）。

